

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

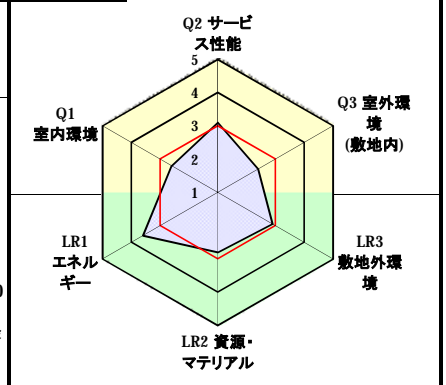
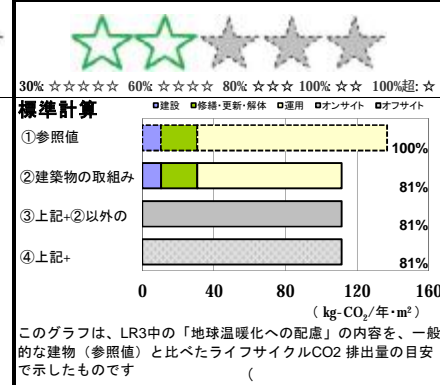
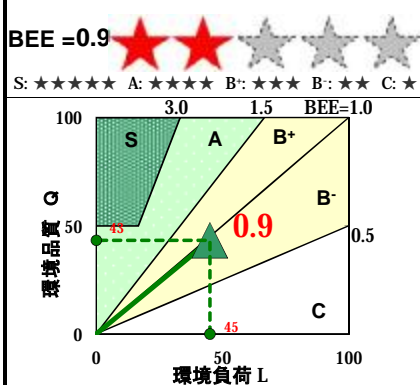
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&be(v.2.1)

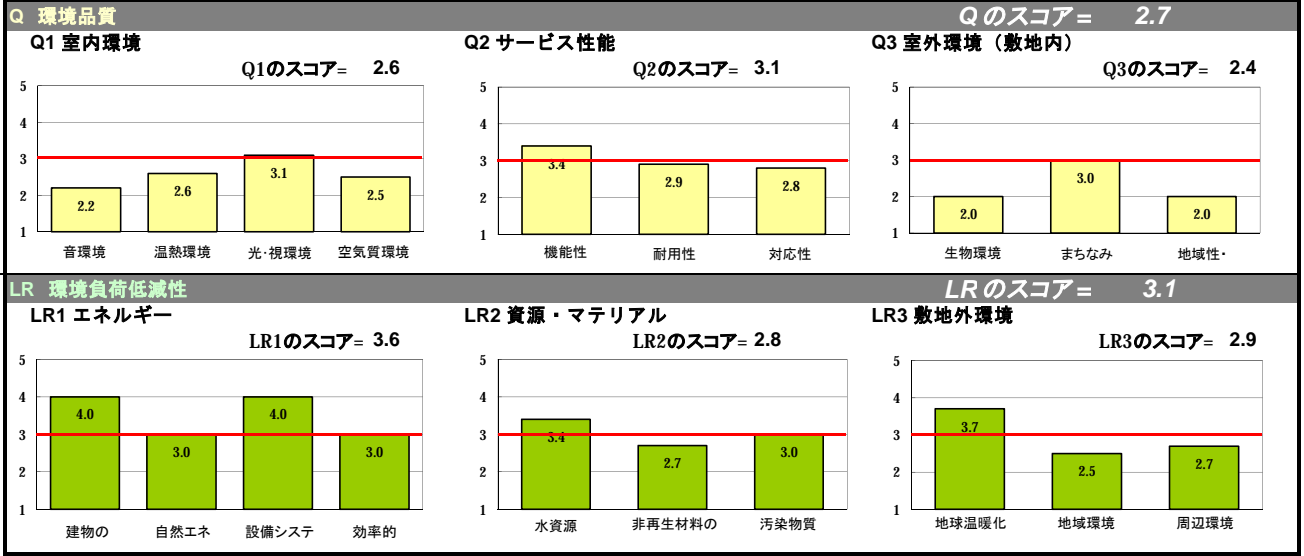
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 岬町特別養護老人ホーム 新	階数	地上2F
建設地	大阪府泉南郡岬町淡輪5635-1の	構造	S造
用途地域	第一種住居、第二種住居、法22条4	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014/7等
敷地面積	5,721 m ²	作成者	株式会社セブン建築設計事務所
建築面積	1,748 m ²	確認日	2014/7等
延床面積	2,833 m ²	確認者	株式会社セブン建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
ユニット型プランとし、スタッフ管理体制の利便性を図り、又、バリアフリーに努め入居者への安全性を考慮した。	特になし。
Q1 室内環境 各個室へ十分な採光を確保できる窓を設置し、防音サッシの採用により住み良い住環境となるよう配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑化に努め、周環境との調和を図った。
LR1 エネルギー 断熱に配慮し、省エネに努めた。	LR3 敷地外環境 敷地内の緑化により、温暖化への配慮を行った。
Q2 サービス性能 バリアフリー法に対処して動線の円滑化を図った。	
LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用により水資源の節水に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)岬町特別養護老人ホーム 新築工事		
	建設地	大阪府泉南郡岬町淡輪5635-1の一部、5636の一部、2480-1、2481の一部、2481-2の一部		
	用途/区分	病院		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	3
			住戸・宿泊 3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
		特になし		
特に配慮した事項	特になし			